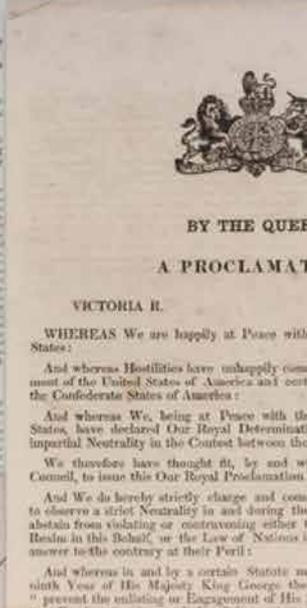


主要対象分野：南北戦争、米国史、英国史、オランダ史、デンマーク史、英米関係史、外交史、国際関係史、国際法史、経済史、軍事史、メディア史、リバプール、綿花貿易、国際仲裁裁判、諜報、世論、プロパガンダ

南北戦争を国際関係の中に位置づける
約40万ページの文書群

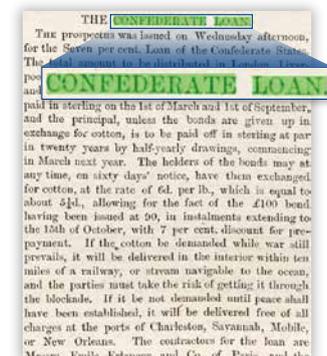
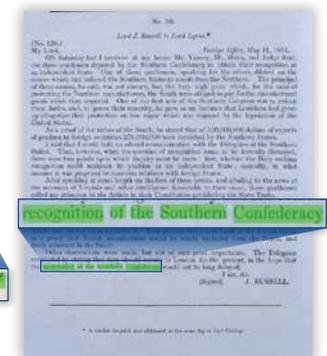
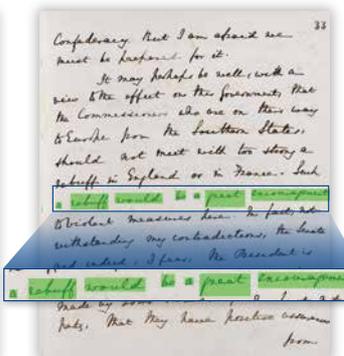
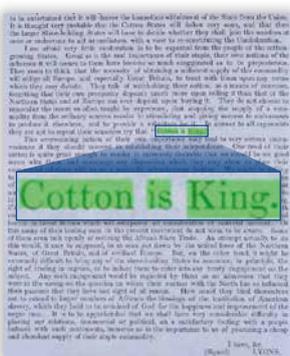


The American Civil War: The International Context

The American Civil War

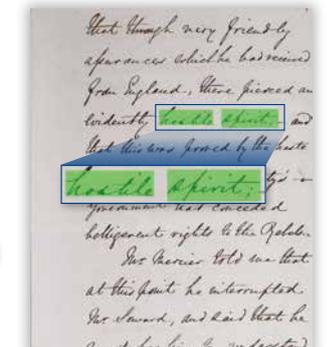
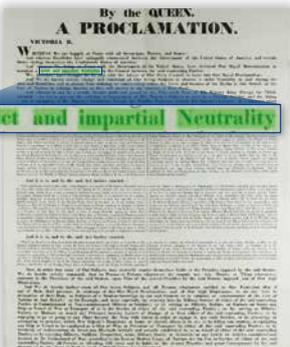
収録文書(例)

南部連合の綿花外交、使節団の英国への派遣



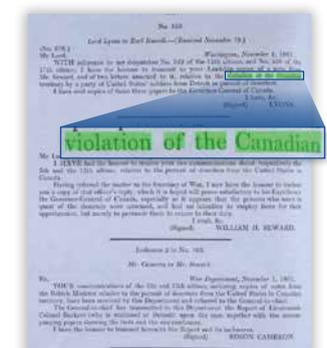
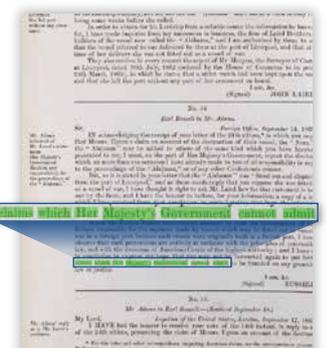
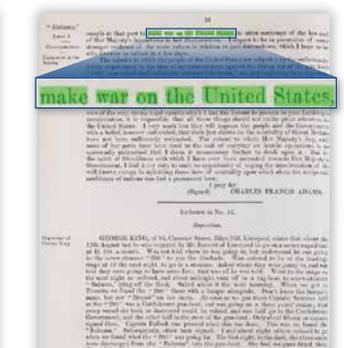
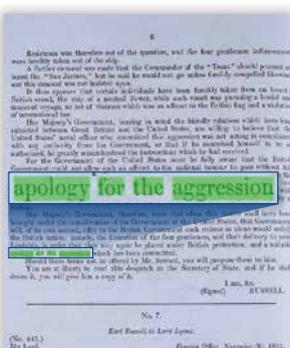
左は南部諸州が連邦離脱の動きを見せた頃に英国のライアンズ駐米大使がラッセル外相に宛てた書簡で、欧州諸国の支持を得るために南部は綿花の禁輸をチャラつかせ、買い手が別の輸入元を探す可能性も忘れて「綿花は王様だ」と繰り返すのみ、と皮肉っている (FO 115/286)。しかし開戦後米国が海上封鎖に踏み切るとライアンズ大使は南部連合との交渉に前向きになった。左から2つめはラッセル外相宛書簡で、南部連合の英国使節団との面談を断るべきではないと進言している (FO 30/22/35)。左から3つめはラッセル外相からライアンズ大使宛書簡で、使節団との間で独立承認が議題に上がったことを述べている (FO 115/286)。南部連合は高利回りの債権発行で投資先としての魅力をアピールした。右は7%の綿花債がロンドンやリハプールで発行されたことを伝える記事 (The Index, March 19, 1863)。

英国の中立宣言



左は 1861 年 5 月に英国が発した中立宣言 (DD/WM/42)。中立宣言では、南部連合の独立は承認せず、交戦国としての地位は認めず。左から2つ目のラッセル外相からライアンズ大使宛書簡では、離脱諸州の規模と人口を考えると交戦国としての地位を認めるのが妥当としている (FO 115/286)。左から3つ目はフランスのメルシエ駐米公使と米国のスワード國務長官の会談内容を報告するライアンズ大使の報告で、英国が叛徒である南部に交戦国の地位を与えたことをスワード長官が非難していると述べている (FO 5/765)。米国が英国を中立義務違反で訴えたことを受け、戦後ジュネーブで仲裁裁判が開かれた。右はジュネーブ仲裁裁判の記録 (FO 305/95)。

英米間の緊張の高まり〜トレント号事件、アラバマ号事件、米国の英領カナダ侵犯〜



英国に向かう南部連合使節団が乗船する英国船トレント号が米国海軍に拿捕され、使節が拘束されると、英国は猛反発した。左はラッセル外相のライアンズ大使宛書簡で、使節の釈放と謝罪を米国に要求するよう訓令している (FO 115/286)。南部連合向けに英国で建造された軍艦を巡って両国間で突如が発生した。左から2つ目は、米国のアラダム駐米公使からラッセル外相宛書簡で、リハプール領事からの情報をもとに軍艦アラバマ号が南部向けに建造された証拠を立てている (FO 414/435)。右はスワード長官のライアンズ大使宛書簡で、北軍兵士が脱走兵を追跡して英領カナダに領土侵犯した事件に関して、追跡者は武装していなかったと釈明している (FO 115/286)。

収録コレクション

英国政府文書(外務省・内務省・海軍本部・関税庁ほか)【英国国立公文書館、サマセット文書館】

- ◆ FO 115: Foreign Office: Embassy and Consulates, United States of America: General Correspondence 【176ファイル】
- ◆ FO 281: Foreign Office: Consulate, New York, United States of America: General Correspondence 【16ファイル】
- ◆ FO 282: Foreign Office: Consulate, New York, United States of America: Letter Books 【9ファイル】
- ◆ Records from the Foreign Office: Confidential Print 【2ファイル】
- ◆ Records from the Foreign Office: Political and Other Departments: General Correspondence before 1906, United States of America, Series II 【414ファイル】
- ◆ HO 45: Home Office, Registered Papers 【3ファイル】
- ◆ CUST 33: Board of Customs: Extra and Intra-Departmental Correspondence 【6ファイル】
- ◆ Records from the Admiralty 【7ファイル】
- ◆ PRO 30/22: Lord John Russell Papers 【20ファイル】
- ◆ Records from the Offices of the United Kingdom 【12ファイル】～植民地省、外務省、商務庁海事局、法務局長財務弁務官～
- ◆ Queen's Proclamation of Neutrality, 1861

英米内戦請求委員会関係文書【英国国立公文書館】

- ◆ FO 305: Archives of British and American Claims Commission (1871) 【29ファイル】

新聞および関連資料【大英図書館、米国議会図書館】

- ◆ The Index. A Weekly Journal of Politics, Literature, and News.(ロンドンで発行された南部派の新聞『ジ・インデックス』。1862年5月1日から1865年8月12日までの約6,100件の記事)
- ◆ Henry Hotze Papers, 1861-1865
スイス系アメリカ人で、南部連合から英国に派遣され、南部支持に向けて英国世論を喚起するために新聞『ジ・インデックス』(↑)をロンドンで創刊しました。外交官、ジャーナリスト、商人と交わした書簡を主として収録します。
- ◆ London American(ロンドンで発行された北部派の新聞『ロンドン・アメリカン』。1860年5月2日から1863年3月4日までの約9,100件の記事)

リバプール関係文書【国立リバプール博物館群】

- ◆ Fraser, Trenholm & Co. Papers
資金援助、軍艦製造の仲介等、南部支援を行なった商社フレイザー・トレンホルム社の役員たちが交わした書簡を収録します。
- ◆ Liverpool and the American Civil War
軍需品製造会社フォーセット・プレストン社、アルソップ・ウィルキンソン弁護士事務所、コバム家、船舶会社の創業者ジョージ・バスク・クロウの文書を通じて、南部と強く結びついたリバプールの企業や個人の活動を明らかにします。

従軍兵士文書【ニューベリー図書館(シカゴ)】

- ◆ Charles Saeltzer Papers, 1846-1865
チャールズ・セルツァーはドイツ系移民で、オハイオ州で教員を務めた後、南北戦争中は第10オハイオ騎兵連隊の士官として従軍しました。軍の任命、命令関係文書、書簡、隊員名簿、米国民権証明書の他、1846年から1865年までの日記も収められています。
- ◆ Emma Meier Rupp Papers
アドルフ・ラップ夫妻が結婚前の南北戦争中に交わした書簡を収録します。妻のエマ・マイアーはミズーリ州で商店を営み、南部にシンパシーを持っていた親族の元で働いていました。アドルフは北軍に従軍しました。エマの戦時中の日記も収められています。
- ◆ Max Schlund Papers, 1862-1865
マックス・シュラッドはドイツ系移民で、シカゴで馬具職人として働いた後、第82義勇歩兵連隊として従軍しました。従軍中ドイツ語で書かれた日記は戦闘、行軍、食糧徴発、装備、戦場の地形、農園略奪、道路の破壊等、従軍時の経験を克明に記録しています。

オランダ政府文書(外務省)【オランダ国立公文書館】

- ◆ Records from Het Archief van Het Ministerie van Buitenlandse Zaken, 1813-1894 (The Archives of the Ministry of Foreign Affairs, 1813-1894) 【25ファイル】
- ◆ Records from Het Archief van Het Nederlandse Gezantschap in de Verenigde Staten van Amerika, 1814-1940 (The Archives of the Dutch Legation in the United States of America, 1814-1940) 【22ファイル】

デンマーク政府文書(植民地総局、外務省)【デンマーク国立公文書館】

- ◆ Collection 1175, Koloniernes Centralbestyrelse (Central Directorate for the Colonies) 【5ファイル】
- ◆ Collection 691, Koloniernes Centralbestyrelse, Regnskab, Vestindien (Central Directorate for the Colonies, Accounts, West Indies) 【2ファイル】
- ◆ Udenrigsministeriet (Ministry of Foreign Affairs) 【5ファイル】

南北戦争に関する約40万ページの文書群（外国政府文書、私文書、新聞）

本アーカイブは南北戦争(1861-1865)を国際関係の中に位置づけ、新しい南北戦争像を提供するために、約40万ページの一次資料を電子化して提供するものです。収録文書は大きく分けて外国政府文書と私文書と新聞の3種類で構成されています。外国政府文書では、英国政府(外務省、内務省、海軍本部、法務局、植民地省、商務庁海事局等)関係文書が大半を占めますが、オランダ政府(外務省、駐米オランダ公使館)とデンマーク政府(外務省、植民地総局)の文書も収録されています。また、南北戦争後に米国の英国に対する提訴を受けて設置された英米仲裁裁判関係文書(英米請求委員会)も興味深い資料です。私文書では、第二次パーマストン内閣のラッセル外相が閣僚や駐米大使等と交わした往復書簡、南部連合からロンドンに派遣され、新聞『ジ・インデックス』を創刊し英国の南部支持に向けて情報活動を繰り広げたヘンリー・ホッツェの書簡から、武器やエンジンの提供や資金援助を通じて南部を支援した貿易商社フレイザー・トレンホルム商会、製造会社フォーセット・プレストン社、マージドック・港湾理事会のジョージ・バスク・クロウ、コバム家等、南部支援派の一大拠点であるリバプールの団体・個人文書、ドイツ系移民で北軍に従軍したチャールズ・セルツァーとマックス・シュランド、エマ・マイアー・ラップとアドルフ・ラップの夫妻の書簡と日記まで、多種多様な人物の文書が収められています。新聞はロンドンで発行された北部派の新聞『ロンドン・アメリカン』と南部派の新聞『ジ・インデックス』です。

国際関係史、国際法史、メディア史の視点から南北戦争に光を当てる画期的文書群

収録文書は国際的な視点からの南北戦争に対する再評価を試みる近年の学問的動向に相応しい文書群です。ラッセル外相、ライオンズ駐米大使、米国各地に駐在する領事の間で交わされた往復書簡は外交当事者の記録として、英国外交の舞台裏を見せるだけでなく、米国のスワード国務長官、アダムズ駐英公使、ダドリー駐リバプール領事、フランスのメルシエ駐米公使、ロシアのストックル駐米公使、プロイセンのゲロルト駐米公使等々、各国要人との交信や会見を同封文書あるいは書簡における引用の形で記録し、南北戦争を巡る欧米諸国の政策の背景や思惑を詳らかにします。またグラッドストーン蔵相、グレイ内相、シーモア海軍卿、ルイス陸相、ベセル大法官等のパーマストン内閣の閣僚やリチャード・ブライトやジョン・コブデン等の英国政治家の発言や行動は、介入に積極的な南部支持派と中立維持を主張する北部支持派に分裂したパーマストン内閣が紆余曲折を経て閣内統一を実現させ、不介入方針を固めるまでのプロセスを明るみに出します。リバプールの商社の文書は、英国の南部支持派の活動を克明に記録するものです。戦後、英国の中立義務違反を巡り英米間で争われ、最終的に英国の敗訴が確定した英米仲裁裁判関係文書は、国際仲裁裁判の歴史において画期をなす裁判を記録したのとして国際法史の重要資料です。南北戦争は、綿花貿易における生産国の変化、奴隷制廃止に伴う新たな移民労働の出現、国民国家の成立、大衆メディアの勃興など、政治的にも経済的にも社会的にも大きな歴史的転換期を迎える中で起こりました。本アーカイブは国際関係史、国際法史、メディア史の視点から南北戦争に光を当てる画期的文書群です。

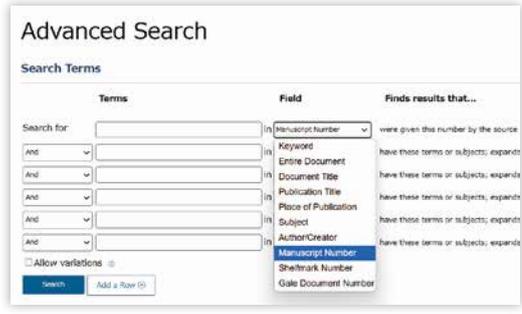
国際関係史とメディア史の中の南北戦争

南部(連合)は英国に交渉使節団を派遣、戦略的国際商品である綿花を武器に綿花外交を推し進め、覇権国の英国から独立承認を獲得するために、英国政府との非公式会談に漕ぎつけます。英国は開戦直後に中立宣言を公布、独立承認は控えつつも、南部に交戦国の地位を付与します。叛徒である南部に交戦国の地位を付与したことに北部(連邦)は反発する一方、北部の海上封鎖により南部の綿花供給を遮断された英国では反北部感情が広がります。南部の使節団を乗船させた英国船を北軍が拿捕し、使節を拘束したトレント号事件は両国の外交問題に発展、英国は抗議声明を出し、使節の釈放と謝罪を要求します。リバプールの造船所で南部向けに建造された軍艦アラバマ号が戦闘に従事し、北部の海上封鎖を突破し、北軍に損害を与えるに及び、両国の関係はさらに悪化します。英国はフランスやロシアと共同で戦争に介入する道を模索しますが、パーマストン内閣は介入支持派と反対派に分かれ閣内統一が実現しません。メキシコに派兵し北米でのプレゼンス強化を狙うフランスが介入に前向きである一方、勢力均衡の観点から米国の弱体化を望まないロシアは介入に消極的で、大国間でも足並みは揃いません。このような状況の中で戦局は北部優位に転じ、奴隷解放宣言を發布し、欧州諸国の反奴隷制感情に訴えかけた北部の狙い通りに情勢は進み、最終的にパーマストン内閣は不干渉方針を固めます。メディアの世界に眼を向けると、南北戦争の時代は大衆メディアの勃興期に当たります。英国では1855年に印紙税が廃止され、『デイリー・テレグラフ』に代表されるベニー新聞が発刊され、新聞の読者層が一気に拡大、新聞が形成する世論に政治が無視できない時代が到来していました。北部と南部はロンドンで自派の新聞を発刊し、自陣営の正当性を訴え、国際世論を味方につけることを試みます。南北戦争は北軍と南軍が戦場で死闘を繰り広げた実戦であるとともに、北部と南部による国際世論に向けた外交戦と情報戦としても展開しました。

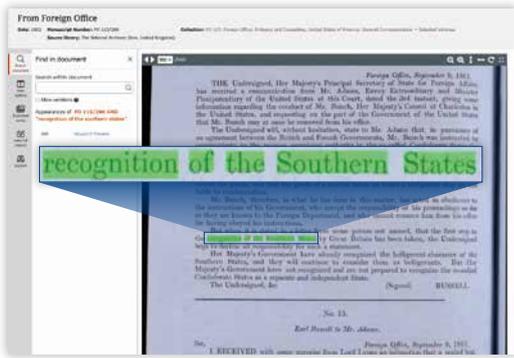




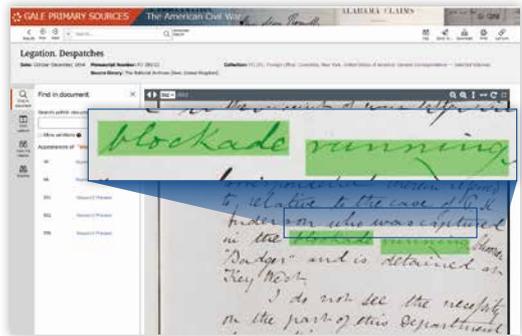
トップページ



詳細検索では、文書タイトルや全文の他に英国公文書館の文書番号 (Manuscript Number) を検索範囲に指定することができます。



一字一句までフルテキスト検索。検索語はハイライト表示



手稿資料もフルテキスト検索できる手書き文字認識を実装



文書表示画面では手稿文書を含め、文書イメージとOCR/HTRテキストを左右見開きで表示することができます。

Manuscript Number	Document Title	Date
FO 5/753	Cruelties and Offences at Sea, Despatches	1854-1861
FO 5/754	To Lord Lyons	January-April, 1861
FO 5/755	To Lord Lyons	May-June, 1861
FO 5/756	To Lord Lyons	July-September, 1861
FO 5/757	To Lord Lyons	October-November, 1861
FO 5/758	To Lord Lyons	November-December, 1861
FO 5/759	To Lord Lyons	January, 1862
FO 5/760	From Lord Lyons	February 2-18, 1862
FO 5/761	From Lord Lyons	February 25-March 25, 1862
FO 5/762	From Lord Lyons	April 27-May 12, 1862
FO 5/763	From Lord Lyons	May 13-31, 1862
FO 5/764	From Lord Lyons	June 1-10, 1862
FO 5/765	From Lord Lyons	June 11-30, 1862
FO 5/766	From Lord Lyons	July 1-15, 1862
FO 5/767	From Lord Lyons	July 16-August 9, 1862
FO 5/768	From Lord Lyons	August 12-26, 1862
FO 5/769	From Lord Lyons	August 27-September 13, 1862

文書の文書番号、文書タイトル、年代を示したページが設けられ、各文書にハイパーリンクされています。

データベースの概要

- ◆ **収録資料**：見開き右ページをご参照ください
- ◆ **収録資料の種別**：タイプ打ち文書、手稿(フルテキスト検索に対応)、新聞
- ◆ **収録資料の期間**：1860年-1875年
- ◆ **言語**：英語、フランス語、オランダ語、デンマーク語、ドイツ語
- ◆ **総ページ数**：約40万ページ
- ◆ **原資料所蔵機関**：英国国立公文書館、大英図書館、オランダ国立公文書館、デンマーク国立公文書館、国立リバプール博物館、米国議会図書館、ニューベリー図書館(シカゴ)ほか
- ◆ **機能**：ページ送り、画面拡大・縮小、全画面表示、輝度・コントラスト調整のビューワ機能の他、印刷、PDFファイルのダウンロード、OCR/HTRテキストのダウンロード、書誌自動生成、書誌情報のエクスポート、メール送信、Google/Microsoftログインとクラウド連携を実装、別契約の Gale Digital Scholar Lab でテキストマイニングでもご利用になれます。
- ◆ **横断検索**：統合検索プラットフォーム Gale Primary Sources では追加コストなしで導入済の Gale の買切データベースとの横断検索が可能



すべてのコンテンツと機能をお試しいただける無料トライアルをご提供しております。
 商品に関するお問い合わせは、センゲージャーニング株式会社までお願いします。

Tel : 03-3511-4390 E-mail : GaleJapan@cengage.com URL : www.gale.com/jp